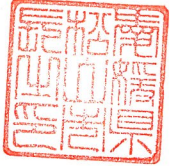


平成24年 9月 5日
24松(危管)第160号

伊方原発をとめる会
事務局長 草 薙 順 一 様

松山市長 野 志 克 仁



公開質問書に対する回答について

2012年8月24日付で、松山市長あてにあった公開質問書について、
下記のとおり回答します。

記

- ① 放射性物質の飛散予測については、放射性物質の放出される高さ・燃焼度・核種などの条件のほか、様々な気象条件が必要とされるため松山市への到達は単純には判断することは困難であると考えています。
3月議会ならびに6月議会での質問は、「南からの風4メートル」という限定された条件での考えをお示ししたものであります。
なお、様々な気象条件等を考慮しない前提で、南西の風等松山市方向への風であれば位置関係から到達する可能性はありますが、現段階では本市に及ぼす影響等を予測することは難しいと認識しています。
- ② 現在、松山市への影響を予測したデータはなく、また、「南からの風4メートル」という想定もないことから、お示しすることはできませんが、愛媛県のホームページからも閲覧できる「環境防災Nネット」上の「愛媛県(伊方発電所3号機) 仮想計算図形」(平成22・23年度)等も参考に判断したものです。
- ③ ①でもお答えしたとおり、3月議会の質問の主旨から、敢えて「南からの風4メートル」という限定された質問に対し、答弁したものです。